

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名：一般国道403号 大白倉バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：新潟県
起終点：自：新潟県刈羽郡小国町三桶 至：新潟県中魚沼郡川西町岩瀬		延長：6.5 km	
事業概要：一般国道403号は、新潟県新潟市を起点とし長野県松本市に至る幹線道路である。大白倉バイパスは幅員狭小・線形不良及び雪崩危険箇所を解消し、広域市町村圏を連絡する道路を整備することにより、雪や災害に強い道路ネットワークの形成を図る。			
昭和61年度事業化	都市計画なし	昭和61年度用地着手	昭和62年度工事着手
全体事業費	約 95 億円	事業進捗率	83%
計画交通量	2,300台 / 日	供用済延長	2.8 km
費用便益比	B / C : (事業全体) 1.6 (残事業) 4.9	総費用：(残事業)/(事業全体) 19/57 億円 (事業費：14/53 億円 維持管理費：4/4 億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 92/92 億円 (走行時間短縮便益：75/75 億円 走行費用減少便益：14/14 億円 交通事故減少便益：3/3 億円)
基準年：平成15年			
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） 他5項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見： 小国町・川西町は長岡市らと共に「国道403及び404号改良整備促進期成同盟会」を組織し、国・県に対し積極的に要望活動を行っている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等：特になし			
事業の進捗状況、残事業の内容等：現在まで用地買収・工事を推進し、2.8kmを部分供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等： トンネルも貫通し橋梁工に着手したことから、今後の事業促進を図る。			
施設の構造や工法の変更等： プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由： 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図： 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。